

# JFA第43回全日本U-12サッカー選手権大会北海道 第11回道央ブロック大会

2019/9/9更新 変更箇所を赤字で表示

1. 主 旨 日本将来を担う子どもたちのサッカーへの興味・関心を深め、サッカーの技術・理解を向上させると同時に、サッカーを通じて心身を鍛え、リスペクトの精神を養い、クリエイティブでたくましい人間の育成を目指し、その研修の場として本大会を開催する。この趣旨を受けて、JFA第43回全日本U-12選手権大会北海道大会に道央ブロック代表として出場するチームを決定する。
2. 名 称 JFA第43回全日本U-12サッカー選手権大会北海道 第11回道央ブロック大会
3. 主 催 公益財団法人 日本サッカー協会、公益財団法人 北海道サッカー協会、  
公益財団法人 日本スポーツ協会 日本スポーツ少年団、読売新聞社
4. 主 管 公益財団法人 北海道スポーツ協会 北海道スポーツ少年団、  
小樽地区サッカー協会
5. 後 援 北海道 北海道教育委員会、公益財団法人 北海道スポーツ協会、札幌テレビ放送、  
小樽市、小樽市教育委員会、日本テレビ放送網、  
報知新聞社
6. 特別協賛 YKK、花王
7. 協 賛 日本マクドナルド、日清オイリオグループ、ゼビオ、サントリー食品インターナショナル
8. 開催協力 モルテン
9. 日程・会場 2019年9月22日(日)  
(会場)岩内運動公園サッカー場  
22日(日) 代表者会議8:30 開会式9:30 1回戦6試合 代表決定戦3  
試合
10. 参加資格 (1) 「参加チーム」は大会実施年度に(公財)日本サッカー協会第4種に加盟登録したチームであること。別に定める地区割り当てにより所轄の地区協会が代表と認めたチームであること。  
(2) 上記「参加チーム」の構成は単一「加盟チーム」に限られ、その「加盟チーム」は年間を通じて継続して活動していること。  
(3) 「参加選手」は、上記「加盟チーム」に所属する選手で、(公財)日本サッカー協会第4種登録選手であること。ただしU-6選手の参加は認めないものとする。  
(4) 同一参加選手が異なる加盟チームへの移籍後、再び参加することはできない。  
(5) 女子選手については(「クラブ申請」を承認された)同一クラブ内の他の「加盟チーム」から参加させることも可能とする。ただし、前項(3)は適用される。  
(6) 「参加チーム」及び「参加選手」は、各地区の代表となったチーム・選手とする。  
当該チームの地区大会への登録選手が16人に満たない場合は、「加盟チーム」内の選手の中から補充することができる。  
(7) 「参加チーム」はU-12リーグに参加していること。  
(8) 引率指導者は「参加チーム」を掌握指導する責任ある指導者であること、また、ベンチ入りするチーム役員の内1名以上が(公財)日本サッカー協会公認コーチ資格(D級コーチ以上)を有すること。  
(9) 参加選手は健康であり、且つ大会参加に関する親権者の同意を得たものでなければならない。  
(10) 「参加チーム」は必ず『傷害保険(スポーツ安全協会傷害保険)等』に加入していること。
11. 参加チームとその数 (1) ○空知地区~3チーム  
○千歳地区~3チーム、  
○小樽地区~3チーム  
○北空知地区~3チーム 計12チームとする

12. 大会形式 (1) 12チームを4チーム3グループに分けて、トーナメント戦を行い、各グループを勝ち抜いた3チームが、全道大会へ進出する。
13. 競技規則 (公財)日本サッカー協会「8人制サッカー競技規則」による。
14. 競技会規定 (1) 競技のフィールド  
競技のフィールドの長さ(タッチライン)は68m、幅(ゴールライン)50mとする。  
その他ペナルティエリア等の長さに関しては8人制サッカールールに準ずる。  
(ペナルティエリア:12m ペナルティマーク:8m ペナルティアークの半径:7m)  
ゴールポストの間隔は5m、クロスバーのグラウンドからの高さは2.15mとする。  
※ゴールは競技者が負傷しないように安全に設置しなければならない。  
交代ゾーン:自由な選手交代のため、ベンチ側のタッチラインのハーフウェーに6mの交代ゾーンを設ける(ハーフウェーを挟んで3mずつ)
- (2) ボール  
モルテン社製『ヴァンタッジオ5000キッズ(F4V5000-R4号球)未定』とする
- (3) 競技者の数  
競技者の数:8名(8名に満たない場合は試合を行わず、得点を0対3として敗戦したものとみなす。試合中に怪我等による人数不足により8名に満たなくなった場合には、そのまま続行する)  
交代要員の数:8名以内  
交代を行うことのできる数:制限なし(交代して退いた競技者は交代要員となり、再び出場することができる。)
- (4) ベンチ入りするチーム役員の数:2名以上3名以内とする。  
1名以上が(公財)日本サッカー協会公認資格(D級以上)を有すること。  
登録した役員の中から大会時にベンチ入りする役員を報告する。
- (5) 審判員  
主審、副審(2人)、予備審判の4名で運営する。
- (6) テクニカルエリアは設置する。  
※その都度ただ1人の引率指導者のみが戦略的指示を与えることができる
- (7) 競技者の用具・ユニフォーム  
①(公財)日本サッカー協会ユニフォーム規程に基づいたユニフォームを使用しなければならない。  
②Jクラブ傘下のチームについては、(公財)日本プロサッカーリーグ(Jリーグ)のユニフォーム要項に認められたユニフォームであれば使用を認める。ただし一部でも仕様が異なる場合は認められない。ユニフォームの広告表示については本号⑧に準じる。  
③ユニフォーム(シャツ、シューズ、ソックス)については正の他に副として、正と色彩が異なり判別しやすいユニフォームを参加申込書(WEB登録)の際に記載し、各試合に必ず携行すること。(FP、GK用共)。本協会に登録されたものを原則とする。  
④シャツの前面・背面に参加申し込みの際に登録した選手番号を付けること。シューズの選手番号については付けることが望ましい。  
⑤選手番号については、参加選手ごとに大会に登録されたものを使用する。  
⑥ユニフォームの色、選手番号の参加申し込み締め切り日以後の変更は認めない。  
⑦ソックスの上にテープを巻く場合、そのテープ等の色はソックスの色と同じものに限る。  
⑧ユニフォームへの広告表示については、(公財)日本サッカー協会第4種大会部会が別途定める規定に基づかなければならず、大会実施年度規定日まで(公財)日本サッカー協会に承認された場合のみ認められる。  
※(公財)日本サッカー協会ユニフォーム規定第10条において適用除外を受けた(公財)日本プロサッカーリーグ(Jリーグ)に所属するクラブの下部組織のチームは、当該クラブのトップチームと同一のユニフォーム広告を提示することが認められる。但し、アルコール等、未成年チームにふさわしくない広告については除外する。
- (8) 試合時間  
① 試合時間は40分(前後半各20分)とする。  
ハーフタイムのインターバル(前半終了から後半開始まで):原則10分間  
② 規定の試合時間内に勝敗が決しない場合、いわゆるPK方式で次回戦へ進出するチームを決定する。ただし、準決勝及び決勝戦では10分間(前後半各5分)の延長戦を行い、なお決しない場合はPK方式により勝利チームを決定する。  
延長戦に入る前のインターバル:原則5分  
ペナルティマークからのキックに入るまでのインターバル:原則1分  
③ アディショナルタイムの表示:行う

- (9) 交代の手続き  
 ① 交代して退く競技者は、交代ゾーンからフィールドの外に出る。  
 ② 交代要員は、交代ゾーンからフィールドに入り、競技者となる。  
 ③ 交代は、ボールがインプレー中、アウトオブプレー中にかかわらず行うことができる。  
 ④ 交代は、主審、補助審判の承認を得る必要はない。  
 ⑤ ゴールキーパーは、事前に主審に通知した上で、試合の停止中に入れ替わることができる。  
 ※交代で退く競技者が負傷している場合は、主審の承認を得た上でどこからフィールドを離れてもよい。

- (10) 負傷者の対応  
 主審が認めた場合のみ、最大2名ピッチへの入場を許可される。

## 15. 懲罰

- (1) 本大会の予選は懲罰規程上の同一競技会とみなし、予選終了時で退場・退席による未消化の出場停止処分は本大会において順次消化する。  
 (2) 本大会は、(公財)日本サッカー協会「懲罰規程」に則り、大会規律委員会を設ける。  
 (3) 大会規律委員会の委員長は、(公財)北海道サッカー協会第4種委員長が務める。委員については委員長が決定する。  
 (4) 本大会期間中に警告を2度受けた競技者は、本大会の次の1試合に出場できない。  
 (5) 本大会期間中において退場を命じられた競技者は、本大会の次の1試合に出場できず、それ以降の措置については本大会規律委員会において決定する。  
 競技者が退場を命じられた場合は、その競技者のチームは交代要員の中から競技者を補充することができる。主審は競技者が補充されようとしている間は、試合を停止する。  
 (6) 本大会諸規定および本記載事項にない事項に関しては、大会規律委員会にて決定する。

## 16. 大会参加申込

一次登録はチーム当たり26名(役員6名・選手20名)を最大とする。  
 「参加チーム」は必要事項を記入し、参加申込書(1次登録)を以下に送付する。役員のうち1名を監督とする。

- (1) 参加申込書・プライバシーポリシー同意書の提出  
 所定の用紙をEメールで申込先A宛に提出する。  
 ※申込を受けた地区協会はKICKOFFにて登録状況を確認し、申込先BおよびC宛に申し込みデータを提出すること。Bへはプライバシーポリシー同意書も提出すること。
- (2) 大会参加料(10,000円)の納入 申込締切日までに下記指定口座に納入する。
- (3) 親権者同意書の提出 郵送で申込先B宛に送付する。
- (4) 選手変更・追加登録は、所属地区協会を通じてEメールにて申込み先Bに届け出のこと。  
 2019年9月12日(木)必着。
- (5) 参加申込締切 2019年9月10日(火) 17:00
- (6) 「参加チーム」は最終登録として1次登録した指導者6名の中から2名以上3名以下・選手20名の中から16名を、9月22日(日)開会式当日の監督会議の際に報告する。

【申込先】  
 A: 所属地区サッカー協会  
 B: 公益財団法人 北海道サッカー協会  
 〒062-0912 札幌市豊平区水車町5丁目5-41  
 北海道フットボールセンター内  
 TEL011-825-1100 fax011-825-1101  
 C: 小樽地区サッカー協会 4種委員会  
 〒047-0152 住所 小樽市新光1丁目16番12号  
 小樽地区サッカー協会 4種委員長 出来田 智  
 Eメール otaru-fighters.j.f.c.@movie.ocn.ne.jp

【大会参加料及び審判不帯同料納入口座】  
 ・大会参加料 10,000円(消費税込)

銀行名 北洋銀行 奥沢口支店  
 口座名 小樽地区サッカー協会 理事長 柴田 靖士  
 口座番号 (普通)3259563

17. 参加料 10,000円
18. 選手証 各チームの登録選手は、原則として(公財)日本サッカー協会発行の選手証を持参しなければならない。ただし、写真貼付により、顔の認識ができるものであること。  
※選手証とは、(公財)日本サッカー協会 WEB 登録システム「KICKOFF」から出力した選手証・大会申込書を印刷したもの、またスマートフォンや PC 等の画面に表示したものを示す
19. 組合せ 道央ブロック代表者会議にて決定済み
20. 帯同審判員 (1) 出場チームは(公財)日本サッカー協会審判員(3級以上)を帯同させること。帯同する審判員の氏名、資格等を参加申込書に記載すること。  
(2) 帯同審判員は、大会期間中審判業務にあたらせるものとする。(監督が帯同審判員を兼ねることはできない)  
(3) 不帯同は認めない。
21. 監督会議 9月22日(日)午前8時30分から、岩内運動公園サッカー場で行う。(全チームの参加を義務付ける。)なお、監督会議には代行者(帯同審判・コーチ等)の参加も可とする。
22. 開会式 行わない。
23. 閉会式 9月22日(日)各グループの代表決定戦終了後、順次大会本部前において行う。代表決定戦に残ったチームの選手・監督は全員参加することを原則とする。
24. その他 (1) 大会規定に違反し、その他不都合な行為の発生した場合は、そのチームの本大会への出場を停止する。  
(2) 荒天・震災・雷等、不測の事態が発生した場合は本大会実運営委員会(主管地区協会理事長、競技委員長、審判委員長などで構成)において協議の上、対処する。中断・中止・延期することがあるので留意のこと。  
(3) 主催・主管等は、大会期間中の事故に関する一切の責任を負わないものとする。

以上